

を撰て一和尚二和尚三和尚といふ外は僧
兼仕法師あり

一寺居のあたに十字あり東を彩所南を六間小橋
といふ、北は坊中よりして寺居の内なり西を
横所として秋田への色なり彩所は死人あれ
ば東の山下に葬送し古歌家よ来て引等
を西へ死人を送るさむい寺井ありて穢を
あけし處なり坊中は死人あれば寺井の照
り出て彩所を色り光陽寺（葬送を大忌
坂と云ふ）
享保年中海禪寺の寺僧禪暉彩小

寺中に葬地を造り彩所亦は死人あれば寺
居のあたを色し寺中は入て引等に古法と死
しもの神葬もありけりや寺僧并庵僧亦
彩をく横死せり又彩所に葬位せし百姓も
壬午のうちに七人と引等せしと云ふ六間小
橋より南に續て岩所といふあり中に古の
川筋ありて小橋一つあり死人ありても昔々
は橋を渡さむ葬地は南の古村をくまに色
遍ち中の葬地をすのむものハ所の中程を
よ向ふ小橋あり俗に又云ふ裏庭を色り横